

高知県学力定着状況調査の分析を終えて ～次なる取組～

高知県学力定着状況調査

研究主任より分析の指示
→①各教科で分析と改善策の検討

校内研修で分析の共有後、課題の明確化
→②各教科で今後の取組の検討・確認

R4年度全国調査までのスケジュールの検討
→各教科で今後の取組の確認

県版調査後の各教科の取組をスケジュールにさせていただきましたが、次の点で各教科で再検討をお願いしています。

- その取組を実施するためのスケジュール
- その課題をいつ補うのかのスケジュール
- 「いつ」「どこで」「何を」検証するのかのスケジュール

これらをもとに取組をより具体的に可視化し、使えるものにしていきましょう。また、**今年度中に付けるべき力を付けて**次の学年を迎えられるようにしていきましょう。

OJT 研修兼メンターチーム会

1. 先輩教員による講義 (講師：前田先生・松原先生 「学級経営について」)

<講話依頼内容>

- ① 全員が充実感や達成感を味わうためのポイントや気を付けること
- ② 女子の扱い方
- ③ 同じ気持ちを持った子ばかりではない中で、全員を同じ方向に向かわせるには
- ④ 保護者との連絡の取り方



前田先生

- ・学級経営や生徒と関わる上で気を付けてきたことは「**ルールの徹底**」と「**環境整備**」。
- ・①は学校行事がチャンス！①も③も関連があるが、③に関しては「これだけは許さない(人を馬鹿にすることや命に関わること)」というものを教師が持つておくことが大事。生徒との出会いの最初にそれを伝えているが、その都度その都度話している。また、頑張った子や頑張ったことに気づき、みんなの前で褒めるようにしている。
- ・②に関しては、あまり近づき過ぎず、でも見守っているという姿勢が大事。
- ・④は何か心配ごとや気になることがある場合は保護者に連絡を取っておいた方がよい。また、生徒の特性や状況から判断して、生徒が保護者へ報告する前に、あったことやどのように指導したかなどを伝えておく方がよい場合もある。



松原先生

- ・徹底して大事にしている(曲げない)ことは「**持ち物の整理整頓**」である。落ち着いた生活は環境整備の心と関係している。生徒に整理整頓を要求するのであれば、教卓の中など生徒には見えない所でも教師の姿勢として整理整頓をするように心がけている。
- ・①③に関して、それぞれの場所でそれぞれの個性や能力を輝かせたい。苦手なことも頑張れば褒めたい。マイナスな発言、行動にならないようにサポートしていきたい。
- ・②に関しては自分自身も探りながらやっている。しかし、他の先生方と連携して生徒を支援していくことが大事。
- ・④気になることがあれば、ちょっとしたことでも後から大変にならないように前もって連絡するようにしている。

2. 自主的な取組の交流 「学校行事等を通した生徒の育成について」

10月の公開メンターチーム会で行った「先輩教員の学校行事や学校生活での生徒への接し方から学んだこと」を生かし、自分たちも「**こういう場面**」「**このように生徒を見取り**」「**こう伝えと**」「**こんな効果や変容があった**」という共有(検証)を行いました。どのメンバーからも**良い行動をみんなの前で褒めたり、こうしてくれると嬉しいというプラスの声掛けや教師の思いを伝えたりしていくことで生徒にプラスの変容が見られたことが話されました。**

